

長年の功勞により、播磨保育園園長が瑞宝章を受章

瑞宝双光章  
高島 経子さんが受章しました

瑞宝章は、公共的な業務に長年にわたり従事して功勞を積み重ね、功績をあげた人に授与されます。  
播磨保育園の園長高島さんは、社会福祉施設の長として長年従事され、その教育と保育の功勞に対し受章されました。  
これからの播磨町とともに、子どもたちを支えてください！



▲多くの子どもたちがお世話になっています

面！胴！小手！（突きは禁止!!）播磨町少年剣道クラブが全国大会へ！

播磨町少年剣道クラブが  
全国大会に出場しました

第57回全国道場少年剣道大会小学生団体戦及び中学生団体戦が日本武道館（東京）で開催されました。  
その大会に出場する小学生の選手達が、大会前に町長及び教育長を表敬訪問しました。  
選手達は、各々大会に向けての意気込みを語り、大会前から対戦相手を圧倒するよう強い思いが伝わりました。  
町長から「播磨町から全国大会に選手が出場する選手がいるのはとても嬉しい。暑い中、大変だとは思いますが、悔いのないように試合に挑んでください」と激励がありました。



▲日々、練習に励んでいます

早起きしてがんばりました

今年も「夏休みラジオ体操」を実施しました

7月24日～8月25日の夏休みの朝8時から、公民館で毎年恒例になったラジオ体操をしました。

毎日の暑さにも負けず、子どもたちはお父さん・お母さん・お友達と一緒に、元氣いっぱいがんばりました。

☎ 中央公民館  
079-437-6980



きんぱすだより

播磨南小学校5年生



田植えをしました

播磨南小学校5年生は、6月9日に田植えを行いました。大池の横にある農家の岡本章男さんの田んぼです。まず、岡本さんからお米について教えていただきました。  
「米」という字は「八、十、八」という文字からつくられていて、「お米ができてくるまでは88回もの手間がかかる」という意味だそうです。お米が出来るまでには田植えや草刈り、害虫の

駆除など多くの手間がかかります。いつも当たり前に食べているお米ですが、感謝して食べなければならぬことに気がつきました。  
いざ、田植えに挑戦。農家の方、地域の方、JAのみなさんに見守られ、教えていただきながら、田植えに挑戦しました。  
最初は、田んぼの中に入るのをためらっていた子どもたちでしたが、入ったらとても楽しい！初めての挑戦でしたが、とても上手に苗を植えることができました。田んぼから出た後は、ドロドロになりましたが、子どもたちはみんな笑顔で、充実した様子でした。お米が立派に育って、秋に収穫できるのが楽しみです。



▲まずは説明を聞きます



▲田植えに挑戦

対話を積み重ねた計画づくり

まちづくりアドバイザーがお届けする  
まちアド通信  
☎ 079-435-2364  
協働推進課住民協働係

行政では、〇〇推進計画といった、これから進める取組や方針をまとめた計画をつくっています。例えば、長期総合計画などがこれにあたります。協働のまちづくり宣言発出以降、行政が開く計画検討の場も対話の場に変化しつつあります。

従来、行政の計画策定は町民、行政、有識者などで構成する検討委員会が開催され、その場で様々な意見を出しながら検討を進めます。しかし、その会議は、かしまった雰囲気、意見の言いやすい場ではない場合もあります。最近では、この計画検討の場も対話ができるように工夫が進んでいます。例えば、先日開催された、播磨町健康増進計画の検討委員会では、複数のテーブルに分かれて意見交換を進めました。その中から計画のキーワードを見つけていきました。「歯の健康維持・噛むこと」や「情報をキャッチすること」「つながりづくり」のような



▲計画検討委員会の様子

言葉が出てきました。これまでの会議では、事務局から出された資料に意見することがほとんどでしたが、話し合いの方法を変えることで、会議の参加者からより多くの意見が出るようになり、よりよい計画になっていきます。会議の進め方や対話の場は地域だけでなく行政の中でも変わっていくつあります。

【まちづくりアドバイザーとは】 播磨町では、多様化・複雑化する地域の課題やニーズに、より細かく対応するため、2020年度より「まちづくりアドバイザー」を配置しています。自治会活動やコミュニティ活動、自主的なまちづくり活動について専門的な視点から支援します。